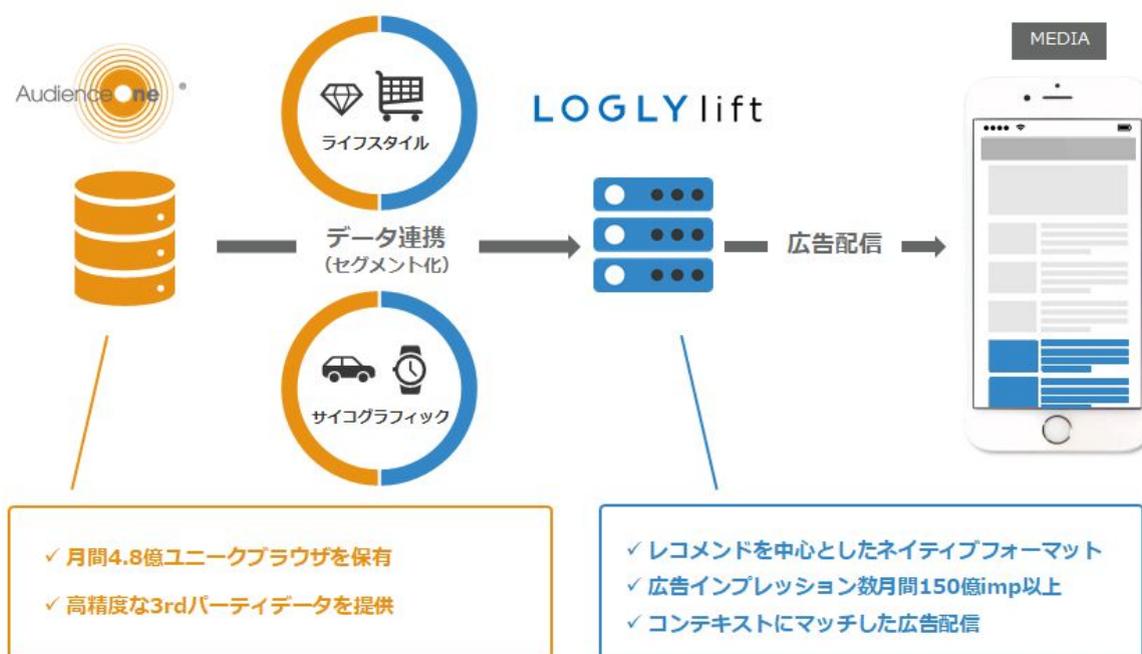


ログリー、DACが展開するDMP「AudienceOne®」との連携を開始

ログリー株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役:吉永浩和、証券コード:6579、以下、ログリー)はネイティブ広告プラットフォーム「LOGLY lift」(*1)においてデジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長CEO:島田雅也、以下、DAC)が提供するデータ・マネジメント・プラットフォーム(以下、DMP)「AudienceOne®」(*2)との連携を開始しました。今後、LOGLY liftでオーディエンスデータを活用したより精度の高い広告配信が可能になり、クライアントがターゲットとしている顧客層へリーチすることが可能になります。



連携イメージ

ログリーの提供する日本初のネイティブ広告プラットフォーム「LOGLY lift」は、独自の自然言語処理技術と機械学習技術を用いて、メディアの文脈にマッチしたコンテンツを広告として配信し、月間150億impを超える広告インプレッション数となっています。また、DACの「AudienceOne®」は、月間4.8億ユニークブラウザと1億以上のモバイル広告ID、2兆レコード以上の膨大なデータを保有し、そのデータを解析して高精度な3rdパーティデータを提供する国内最大級のDMPです。

2018年8月2日に発表した「[新型配信ロジック「デモグラフィックターゲティング配信」の提供を開始](#)」取組みにおいても、DMP事業社とログリー独自のマッチング技術を組み合わせることで、年代や性別、家族構成などの訴求軸に沿った配信、BtoB商材や嗜好品、特定条件を満たすユーザーへの配信など、ログリーの強みである興味・関心に応じたデータを活用した広告配信に力を注いでまいりました。



今回、国内最大規模である「AudienceOne®」が保有するオーディエンスデータと連携することで、よりユーザーの興味・関心に合うターゲットユーザーに対して最適な広告配信を行うことが可能となり、ユーザーと適切なコミュニケーションを図ることができます。さらに、「AudienceOne®」をすでに利用している企業であれば、過去に利用したターゲットに対して「LOGLY lift」上での広告配信をご利用いただけます。

ログリーは今後も、高精度なオーディエンスターゲティング配信を実現することにより、嫌われない広告の実現を目指してまいります。

【ログリー株式会社について】

会社名：[ログリー株式会社](#)（東証マザーズ：証券コード6579）
代表者：代表取締役社長 吉永浩和
本社所在地：東京都渋谷区道玄坂1-16-3 渋谷センタープレイス2F
事業内容：メディアテクノロジー事業、アドテクノロジー事業

【デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社について】

会社名：[デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社](#)
代表者：代表取締役社長CEO 島田 雅也
本社所在地：東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー
設立：1996年12月
事業内容：メディアサービス事業、ソリューションサービス事業、
オペレーションサービス事業

*1 [LOGLY lift](#) (ログリーリフト)

2012年に提供を開始した日本初のネイティブ広告プラットフォーム。ログリー独自の自然言語処理技術と機械学習技術を用いて、メディアの文脈にマッチしたコンテンツを広告として配信します。レコメンドウィジェット型とインフィード型のフォーマットをサポートし、メディアの回遊、集客そして収益化を支援しています。

*2 [AudienceOne®](#) (オーディエンスワン)

月間4.8億ユニークブラウザと1億以上のモバイル広告ID、2兆レコード以上の膨大データを保有し、そのデータを解析して高精度な3rdパーティデータを生成/提供する国内最大級のデータ・マネジメント・プラットフォーム(DMP)です。Webサイトの行動データやCRM、広告配信結果、パネルアンケート結果など様々なデータを統合し、分析/可視化、また豊富な連携チャネルを活用した“新規顧客の獲得”から“既存顧客へのLTV向上”までを一気通貫で実現する高度なマーケティング環境の提供を可能にします。